

## ハンディーの運用について

目的：前年度の試合におけるレベル差を鑑み、ハンディー制を導入することによりレベル差の均衡を図る

### ●女性2名の場合（男子ダブルスVS女子ダブルス）

①1ゲーム目、30-0（2P女子優位の状態）からのスタートとなる（デューサイドからサービス開始）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → ②へ

女子ダブルスがゲームを取得した場合 → ③へ

②2ゲーム目も1ゲーム目と同じく、30-0（2P女子優位の状態）からのスタートとなる（デューサイドからサービス開始）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → 女子がゲームを取得するまで30-0ハンディーで各ゲームプレイ

女子ダブルスがゲームを取得した場合 → ④へ（ハンディーが1つ減り、15-0で3ゲーム目へ）

③2ゲーム目は1つハンディーを減らし、15-0（1P女子優位の状態）からのスタートとなる（アドバンテージサイドからサービス開始）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディーがもとに戻り、30-0で3ゲーム目へ

女子ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディー無しの0-0から通常の試合と同じで3ゲーム目へ

④3ゲーム目はハンディーが1つ減り、15-0（1P女子優位の状態）からのスタートとなる

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディーがもとに戻り、30-0で4ゲーム目へ

女子ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディー無しの0-0から通常の試合と同じで4ゲーム目へ

以上、女子ダブルスがゲームを取得するたびに、1つずつハンディーが減り、男子ダブルスがゲームを取得するとハンディーが1つずつ増える。

この状態を試合（セット）が終わるまで繰り返し、試合を終える。ただし、タイブレークの場合は、ハンディーは無いものとする。

●女性1名の場合（男子ダブルスVS混合ダブルス、混合ダブルスVS女子ダブルス）

①1ゲーム目、15-0からのスタートとなる（アドバンテージサイドからサービス開始）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → ②へ

混合ダブルスがゲームを取得した場合 → ③へ

②2ゲーム目も1ゲーム目と同じく、15-0からのスタートとなる（アドバンテージサイドからサービス開始）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → 混合ダブルスがゲームを取得するまで  
ハンディーが各ゲームで残る

混合ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディー無しの0-0から通常の試合と  
同じで3ゲーム目へ

③2ゲーム目は、ハンディー無しの0-0からのスタートとなる（通常の試合と同じ状態となる）

男子ダブルスがゲームを取得した場合 → 混合ダブルスが15-0のハンディーを  
もって3ゲーム目へ

混合ダブルスがゲームを取得した場合 → ハンディー無しの0-0から通常の試合と  
同じで3ゲーム目へ

以上、男子ダブルスが前のゲームを取得すると15-0のハンディーとなり、混合ダブルスが  
ゲームを取得するとハンディーが無くなる。

この状態を試合（セット）が終わるまで繰り返し、試合を終える。ただし、タイブレークの場合  
は、ハンディーは無いものとする。